

不信者対応訓練

令和 6年 4月 25日(木)

【目的】 利用者及び職員を不審者から守るための具体的な方法を身につけるため

【講師】 鳥取県警察署 地域生活安全課 職員

【受講者】 いちばん星 全職員

【場所】 いちばん星 施設内 令和6年4月25日(木) 18:00～



1. 不審者への対応への心構え

- ・絶対、こうすれば大丈夫という対策はない。その時その時、考えて行動することが大切。
- ・絶対に1人では行動しない。たくさんのスタッフと声をかけあって情報を共有することが大切。
- ・不審者は施設内に入れないのが原則。早めに警察に連絡をすること。
- ・**警察が現場に到着するまでの平均時間は6～8分間。**その間をどうやり過ごすのが課題。

2. 不審者への対応

①声をかける(2人以上で対応)・・・「なにか御用でしょうか?」「どうされましたか?」等

- ・不審者とは2m以上の間隔を空ける
- ・不審者を観察する(持ち物、背格好、ポケットが膨らんでいないか、訴えは何か等)

②言っていることが理解できない(支離滅裂)、要求に対応できない場合の対応

- ・「こちらでは対応できませんので、お帰り頂けますか?」等の具体的な指示を出す。
- ・指示、退却に従わない場合、なるべく早く「**110番**」通報する
- ・警察に通報する際の合言葉を決める・・・今後の主任会議で決める

3. 実践訓練



さす股の使い方・・・槍のように使う(威嚇する、叩く等)方法もある。1人では対応できないので大勢で対応する。



力を入れようとする前傾姿勢になるが、不審者との距離が近くなるので危ない。しっかりと距離をとること。



壁があれば不審者を固定しやすい。2人以上で対応する場合は多方向からアプローチすること。



このように柄の部分で抑え込むと有効的。他には盾で防御する方法もある。盾は押さえつけやすい。

4. 警察官を不審者に見立て、実際に通報しながらの訓練



不信者が入ってきました(警察官の演技力、鬼気迫るものがありました。凄かったです。)



さす股で不審者を取り押さえようとしても、スルリと逃げられてしまいます。



スタッフ5~6人でやっと不審者を取り押さえることができました。

今回の研修を受けて、私たちが想像している以上に、不審者を取り押さえることは大変だということが分かりました。やはり、1番、大切なことは不審者の中に入れないこと、早めに通報することです。「もしも?!」「まさか?!」の時の対応について、常日頃からスタッフ間で話し合いをし、訓練を重ねていくことが大事だと痛感しました。